

表彰式



東箱田後家町



上新田町



西箱田町



前箱田町



東地区女子ソフトバレーボール大会 取材記

梅雨真っ最中の六月十五日（日）、東中体育館で東地区女子ソフトバレーボール大会が行われた。

コロナ流行前は、硬いボール（普通のバレーボール）で行われていたという。コロナ以降、軟らかいボールでソフトバレーボール大会となった。軟らかいボールの良さは、各チームの選手に聞くと、手が痛くならない。腕にあざができない。突き指をしない。練習日を多く設けなくても、経験のない人でも参加可能であるなどの話であった。逆に、軟らかいボールでは、確実に思った通りのパスができない、とんでもないところに飛んでいく、アタックをしようとしてもジャンプとのタイミングが合わない等、様々な感想が聞かれた。しかし、予想もできないことが起きるのでこれがまたおもしろいのかとも話していた。大会要項によると、選手は、中学生以上参加可能で学生は、1チーム2名ということだ。各チームにも年齢層が幅広く色々な年齢の方が参加しているように見えた。

また、普通のバレーボールチームが東地区にはあり、各学校の体育館で活動している。年齢に応じたチームも編成されている。そのための大会もあるとのこと。バレーボールは、幅広く行われている様だ。驚いたことに、チームの中に小川市長が参加されていた。お話を伺うと、毎年参加しているとのこと。中学の3年間、部活動でバレーボール部だったという。さて、活躍ぶりは、さすが昔取った杵柄か？サーブもレシーブも見事。チームの一員として溶け込み、活躍されており、とても楽しそうな笑顔だった。

体育館は、暑さ対策がされていた。各所のチームのクーラーボックスで冷たい飲み物、エネルギー源補給の食べ物等も用意している様だ。試合の合間には、大型のうちわが大活躍していた。

大会の要項どおり『親睦と交流』がなされていた。各チームの選手、その時々集まり、一つの球に思いをかけ、力を合わせる姿は、楽しいという言葉がぴったりである。一日中、会場は歓声と笑い声と笑顔があふれていた。

結果

- 優勝 東箱田後家町
- 準優勝 上新田町
- 第三位 西箱田町
- 第四位 前箱田町



館報編集委員 木村 恭子

東地区の歴史と地名

古市（ふるいち）・その三

（公民館だより 611号の続き）

古市村の字名（江戸期からの地名）・県立文書館所蔵・明治六年の地籍図より

吉池（よしいけ）

宇佐美街道（行幸道）の周辺に、吉池や長池など数ヶ所に池がありました。葦の穂が出ていないものを葭といい、葦の茂る池から命名されたものです。明治十一年八月に、明治天皇行幸後、新道と改名して消滅。現地の範囲は、宇佐美街道の東、南部大橋線の北で、水資源開発公団北西部。古市村の大字名・前橋市立図書館所蔵・明治一十六年上野国郡村誌より

宅地添（たくちそい）

村の中央の宅地で、地租改正時に、屋敷を改名したものです。昭和五十七年前橋町と古市町一丁目、編入して消滅。現地の範囲は、古市町一丁目の古市町公園の周辺。

樋越（ひこし）

地租改正時に、村北の一部を分割して誕生したもの。滝川を越えて農業用水の樋があった地。昭和五十七年一部を新前橋町に編入。現地の範囲は、滝川の西で、前橋群馬高崎線（旧安中線）の南北付近。

飯玉（いいたま）

地租改正時に、村北の一部を分割して、飯玉神社の所在地から命名されたもの。昭和四十九年石倉町一丁目と昭和五十七年新前橋町に変更して消滅。現地の範囲は、滝川の東で、両毛線の北側は石倉町一丁目の南西部と、南側は新前橋町北部まで。

新道（しんみち）

県庁南から、宇佐美橋を渡り、石倉・古市を抜けて和尚塚の側を通り、江田・日高より高崎へ通ずる行幸道・別名宇佐美街道とも呼ばれています。旧国道一七号線の前身の道です。この道の周辺の地で、明治天皇行幸は明治十一年八月で、その後の地名変更と考えられます。現地の範囲は、宇佐美街道の東、南部大橋線の北で、水資源開発公団北西部まで。

松場（まつば）

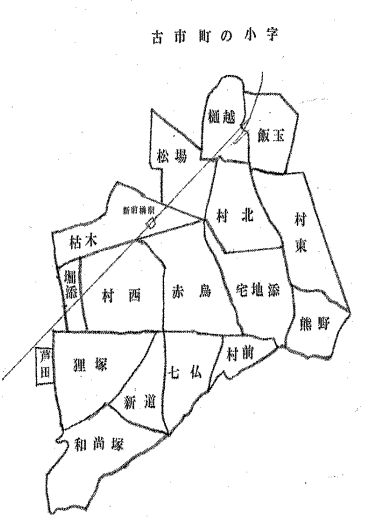
地租改正時に、村北の一部を分割して誕生したもの。的場（マトバ）の転訛したもので、破魔矢を射った所、村境の魔除け場と考えられます。昭和五十七年一部を新前橋町に編入。現地の範囲は、社会総合福祉センターから、線路を越えて北へ、元総社町の境界の鈴蘭幼稚園付近まで。

堀添（ほりそえ）

地租改正時に、村西の一部を分割して誕生したもの。古市堰が新前橋駅の北を通り、線路と旧国道を横切る、その堀に沿った地。昭和五十七年に字の一部を廃止しています。現地の範囲は、理研鍛造工場の南東部とフォレストモール新前橋の北西部付近。

芦田（あしだ）

昭和五十七年元総社町字芦田の一部を古市町に変更されたが、字は廃止しています。現地の範囲は狸塚の近接の小面積地。



館報編集委員 小池 照一